

〔ペルメトリン乳剤〕

農林水産省登録 第15957号
 性 状：淡黄色澄明可乳化油状液体
 毒 性：普通物
 危 険 物：第4類第2石油類 III
 有効年限：5 年
 包 装：100 ml×60本、500 ml×20本

アディオ[®]乳剤

有効成分：ペルメトリン(PRTR・1種)……20.0%

補助成分：キシレン(PRTR・1種)……37%以下 エチルベンゼン(PRTR・1種)……37%以下



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000～3000倍	200～ 700 ℓ	前日	2回	散布
	ハマキムシ類 カメムシ類	2000倍				
もも	カメムシ類	2000～3000倍		7日前	6回	
	シンクイムシ類 アブラムシ類					
	ハマキムシ類					
ネクタリン	モモハモグリガ	2000～4000倍			3回	
	カメムシ類	2000倍				
	シンクイムシ類・アブラムシ類 モモハモグリガ	2000～3000倍 2000～4000倍				
かき	カキクダアザミウマ	2000倍		5回		
	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	2000～3000倍				
	キウイフルーツ	キイロマイコガ カメムシ類			2000倍	
くり	クリタマバチ	1000～2000倍		14日前	6回	
	クリシギゾウムシ	2000倍				
かんきつ	ミカンハモグリガ アブラムシ類	2000～4000倍	前日	2回		
	チャノキイロアザミウマ カメムシ類	2000～3000倍 2000倍				
	いちじく	アザミウマ類・アブラムシ類 イチジクヒトリモドキ			3000倍	
アロニア はまなす (果実)	シンクイムシ類	2000倍	7日前			
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類・ウリハムシ	2000～3000倍	100～ 300 ℓ	前日	3回	
ズッキーニ	アブラムシ類・フキノメイガ			7日前		
にがうり	アブラムシ類・カメムシ類 タバコカスミカメ・ヨトウムシ類 フキノメイガ			前日	5回	
すいか メロン かぼちゃ	アブラムシ類	3000倍				
いちご						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
ごぼう	アブラムシ類	2000~3000倍			5回	散布
だいず	フタスジヒメハムシ マメシンクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ マメハンミョウ マメシンクイガ	3000倍	100~ 300ℓ	7日前	3回	
	ジャガイモヒゲナガアブラムシ	24倍	0.8ℓ			
うめ	アブラムシ類	3000倍	200~ 700ℓ	前日	2回	散布
ピーマン		2000~3000倍	100~ 300ℓ		5回	
		タバコガ・カメムシ類		2000倍		
とうがらし類	アブラムシ類	2000~3000倍		7日前	2回	
	タバコガ					
キャベツ	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ	2000倍		3日前	5回	
	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			7日前		
はくさい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ	2000倍		30日前	4回	
	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ					
だいこん	アブラムシ類	2000~3000倍		7日前	3回	
茎ブロッコリー	アオムシ	2000倍		3日前	5回	
ブロッコリー カリフラワー	コナガ アブラムシ類		7日前			
レタス	アブラムシ類 ヨトウムシ	2000~3000倍	14日前	2回		
リーフレタス	アブラムシ類 ヨトウムシ		7日前	3回		
トレビス	アブラムシ類			5回		
たまねぎ	アザミウマ類・ネギコガ ハスモンヨトウ	3000倍	7日前	3回		
ねぎ	アザミウマ類・ネギコガ シロイチモジヨトウ	2000倍		前日	2回	
にんにく	ネギコガ アブラムシ類		3日前	3回		
ハスカップ	ハマキムシ類 アブラムシ類	2000~3000倍	200~ 700ℓ			
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類 ヨトウムシ・アブラムシ類	2000倍	前日	3回		
さやいんげん	カメムシ類		14日前			
豆類 (未成熟、ただし、 さやいんげん、さ やえんどう、未成 熟そらまめを除く)	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウラナミシジミ アズキノメイガ マメシンクイガ	3000倍		7日前	前日	
	未成熟そらまめ		ヨトウムシ類・ナモグリバエ ウラナミシジミ			
ほうれんそう	アブラムシ類・ハクサイダニ		21日前	2回		

表中の※は無人ヘリコプターによる散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法	
しそ	ハスモンヨトウ・アザミウマ類 アブラムシ類・コナジラミ類	4000倍	100~ 300ℓ	5日前	本剤：2回 ベルメトリン： 4回 (#1)	散布	
ミニトマト	オンシツコナジラミ	3000倍		前日	1回		
トマト	アブラムシ類	2000~3000倍			3回		
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000倍		14日前			4回
なばな	コナガ	2000~3000倍					
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類			2000倍	7日前		3回
とうもろこし	アワノメイガ アブラムシ類	3000倍					
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類	2000倍 3000倍		21日前	5回		
やまのいも	アブラムシ類・ヤマノイモコガ アザミウマ類	2000~3000倍					
てんさい	ヨトウムシ	2000倍		7日前	3回		
さといも	ハスモンヨトウ アブラムシ類・スズメガ類	3000倍					
かんしょ	イモコガ	2000倍		200~ 400ℓ	摘採14日前		1回
茶	チャノココクモンハマキ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノキイロアザミウマ						
そらまめ	アブラムシ類	3000倍		100~ 300ℓ	7日前		3回
オクラ	ハスモンヨトウ・カメムシ類 アブラムシ類	2000倍	前日				
しろな	アオムシ	2000~4000倍	7日前		2回		
みずな	アブラムシ類・ダイコンハムシ ヤサイゾウムシ	3000倍	14日前		1回		
つるむらさき	ヨトウムシ	2000倍	200~ 700ℓ	7日前	2回		
さるなし	キイロマイコガ						
食用ゆり	アブラムシ類	3000倍	100~ 300ℓ	前日	5回		
葉ごぼう				14日前	2回		
食用亜麻	ヨトウガ	2000倍		3日前	3回		
ごま	アブラムシ類	4000倍		21日前	2回		
しゅんぎく	ハクサイダニ						
さといも (葉柄)	ハスモンヨトウ アブラムシ類	2000倍 3000倍		7日前	6回		
はぼたん	アオムシ アブラムシ類	2000倍 2000~4000倍					
花き類・ 観葉植物を 除く	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類 アブラムシ類	2000倍 2000~4000倍		発生初期	6回		

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
樹木類 (くちなしを除く)	ケムシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000~8000倍	200~ 700ℓ	発生初期	6回	散布
くちなし	アザミウマ類	2000倍				
はこべ	オオタバコガ	3000倍	100~ 300ℓ	21日前	1回	

#1：乳剤は2回、粒剤は2回

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切る。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布する。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種種に適した散布装置を使用する。
 - 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
 - 作業終了後は次の項目を守る。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
 - ・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - ・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 原液は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋などを着用する。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入し

ないよう注意して使用する。

- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払う。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管する。

12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－G も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- 60 作物以上に登録を有しています。